

第1章 ビジョン策定にあたり

1.1 白山市水道事業ビジョン策定の趣旨

白山市の水道は、市営上水道事業のほか、市営簡易水道7事業、組合営簡易水道43事業、水道事業以外の小規模水道として市営施設12施設、組合営施設51施設が存在し、これらの水道施設により地域住民に安全で安定した水道水を供給しており、市民生活や経済活動に不可欠な社会基盤となっています。

一方、本市水道事業として、平成21年3月に「白山の恵みの水を未来まで」の基本理念のもと「白山市長期水道ビジョン」を策定し、将来につながる事業運営を行ってきました。

このような中、厚生労働省は平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定・公表しました。これは、人口減少時代への突入や東日本大震災の経験など、水道をとりまく経営環境が大きく変化してきたことから、これらの変化に対応し、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を「安全」「強靱」「持続」の観点から明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、取り組むべき事項や方策、関係者の役割分担を提示しています。

このような背景から、本市水道事業においても、平成30年3月に長期的な視野に立った取組の方向性や今後中長期に進めていく具体的な取組を示す『白山市水道事業ビジョン』を策定しました。本ビジョンの計画期間は平成30年度から令和14年度までの15年間であり、このたび前期計画期間の見直し時期である令和4年度を迎えたことから、本ビジョン策定後の本市水道事業を取り巻く経営環境の変化を踏まえ、中間見直しを行いました。

なお、本ビジョンは、本市水道事業における経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を含むものです。

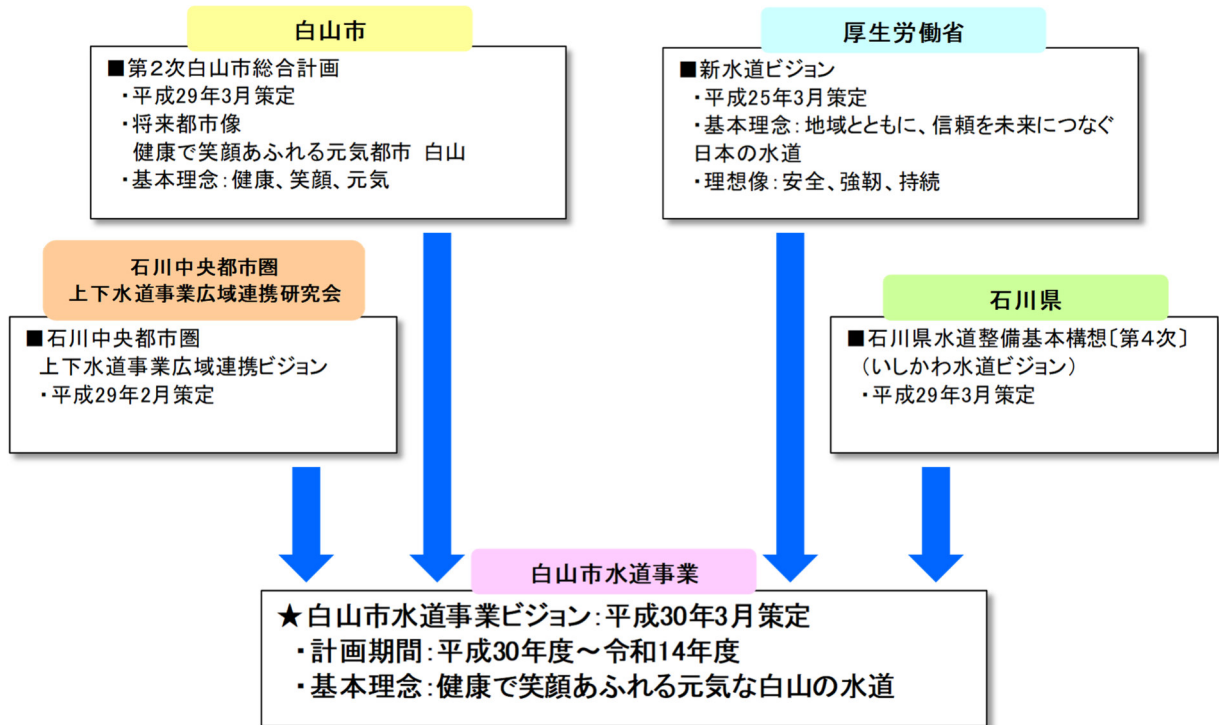


【扇状地から白山を望む】

1.2 ビジョンの位置付けと計画期間

『白山市水道事業ビジョン』の位置付けは、市の上位計画である「第2次白山市総合計画」及び厚生労働省が平成25年3月に策定した「新水道ビジョン」と整合を図りながら、石川県が策定した都道府県水道ビジョンである「石川県水道整備基本構想〔第4次〕（いしかわ水道ビジョン）」や石川中央都市圏上下水道事業広域連携研究会が策定した「石川中央都市圏上下水道事業広域連携ビジョン」との調整を図っていくものです。

本ビジョンの目標年度は令和14年度とし、計画期間は平成30年度～令和14年度の15年間とします。



図：白山市水道事業ビジョンの位置付け

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	...
【厚生労働省】 水道ビジョン	水道ビジョン										新水道ビジョン																				
【白山市】 白山市総合計画	第1次白山市総合計画										第2次白山市総合計画																				
白山市 水道事業ビジョン	白山市長期水道ビジョン(H21～H30)										●今回見直し 白山市水道事業ビジョン(H30～R14)																				

図：上位計画と白山市水道事業ビジョンの計画期間